

処分地サイト選定に活用

NUMO 確率的評価手法で報告会

原子力発電環境整備機構(NUMO)は6日、都内で、放射性廃棄物の地層処分事業に際し影響が考えられる自然現象について、超長期の将来予測に伴う不確実性への対応策として検討を進めてきた確率的評価手法の技術開発に関する報告会を開催し、海外専門家も

NUMOは用いてきた

現在までに発生した変動の傾向を明らかにし、その傾向を将来へ当てはめる決定論的アプローチを進める人材養成プログラム

原子力安全・核セキュリティの分野でリーダーとなる国際人材養成のセミナーが二月二十五日、三月七日までの日程で始まった。東京工業大学が進める人材養成プログラ

R原子炉の安全概念とともに、今後の国際展開の意気込みを述べた上で、それら推進力として、人材養成の重要性を訴えかけた。

また、フランス原子力庁特別アドバイザーのJ・フシヤル氏は、使用済み燃料は「埋める」か「燃やす」しかないとした上で、「燃やす」オプションが、資源確保だけでなく、核拡散抵抗性上も重要なことを強調し、同国における再処理、高速炉開発の現状を述べ、実証炉「ASTRID」の十年以内の運転開始や、日本に対する「もんじゅ」稼働への期待をかけるなどした。

ロシアからは、ロスアトム中央生涯教育・訓練所のV・アーシヨク氏が登壇し、ロシア型VVER

これらの発表に対し、「道場」の学生からは、福島原子力事故後の各国世論の動向、マーケティングの強みなどについて、活発な意見・質問があった。



原子力発電環境整備機構(NUMO)は6日、都内で、放射性廃棄物の地層処分事業に際し影響が考えられる自然現象について、超長期の将来予測に伴う不確実性への対応策として検討を進めてきた確率的評価手法の技術開発に関する報告会を開催し、海外専門家も

日本の若手に期待

リーダー 各国専門家がエール

原子力安全・核セキュリティの分野でリーダーとなる国際人材養成のセミナーが二月二十五日、三月七日までの日程で始まった。東京工業大学が進める人材養成プログラ

R原子炉の安全概念とともに、今後の国際展開の意気込みを述べた上で、それら推進力として、人材養成の重要性を訴えかけた。

また、フランス原子力庁特別アドバイザーのJ・フシヤル氏は、使用済み燃料は「埋める」か「燃やす」しかないとした上で、「燃やす」オプションが、資源確保だけでなく、核拡散抵抗性上も重要なことを強調し、同国における再処理、高速炉開発の現状を述べ、実証炉「ASTRID」の十年以内の運転開始や、日本に対する「もんじゅ」稼働への期待をかけるなどした。

ロシアからは、ロスアトム中央生涯教育・訓練所のV・アーシヨク氏が登壇し、ロシア型VVER

これらの発表に対し、「道場」の学生からは、福島原子力事故後の各国世論の動向、マーケティングの強みなどについて、活発な意見・質問があった。

刈取りによる除染効率低い

岡山大学 セシウムの移行係数調査

岡山大学の資源植物学研究所は、このほど、福島県飯館村の農地四か所の野生植物九十九種について、放射セシウムが、刈取りによる除染効率を調査し、雑草群落への移行係数を推定したところ、耕地雑草群落の刈り取り植物体への移行係数を調査し、雑草群落への移行係数を推定したところ、耕地雑草群落の刈り取り

岡山大学の資源植物学研究所は、このほど、福島県飯館村の農地四か所の野生植物九十九種について、放射セシウムが、刈取りによる除染効率を調査し、雑草群落への移行係数を推定したところ、耕地雑草群落の刈り取り植物体への移行係数を調査し、雑草群落への移行係数を推定したところ、耕地雑草群落の刈り取り

福島の発がんリスク低いと発表

京都大学

京都大学の研究グループは、このほど、福島県の避難区域周辺住民に対する外部被ばくと内部被ばくに関する調査結果を発表し、今後、長期にわたる放射性セシウムの減衰により、年間の平均被ばく線量は、平常時の自然放射線や医療被ばく以外の限度となる1mSvを超えないと予測した。発がんリスクは低いとの考えを示した。

同研究グループは、二年八月、川内村、相馬市、南相馬市の各自治体で、福島第一原子力発電所から二十〜五十kmに位置し避難区域に隣接する地区の住民に対し、個人線量計を着用させ、陰陽調査を行い、土壌中の放射性セシウムからの外部被ばくと、食事と大気粉じん中の放射性セシウムからの内部被ばくによる線量2mSvと近い水準だった。

輸入依存脱却めざす

バルト 原子力選択肢排除せず

外務省は十一日、バルト三国と日本の相互理解となる今回はエネルギー安全保障をテーマとし、安全を保障する「日・バルト七」を東京・早稲田大学小野記念講堂で開催した。バルト三国では共通してロシアからのエネルギー輸入に依存しており、脱却をめざして協力を進めている。

エストニアのT・ウエスキマギ・エリリング社(送電会社)社長は、妥当な価格でのエネルギー安全保障を確保する上

バルト三国では共通してロシアからのエネルギー輸入に依存しており、脱却をめざして協力を進めている。

エストニアのT・ウエスキマギ・エリリング社(送電会社)社長は、妥当な価格でのエネルギー安全保障を確保する上



外務省は十一日、バルト三国と日本の相互理解となる今回はエネルギー安全保障をテーマとし、安全を保障する「日・バルト七」を東京・早稲田大学小野記念講堂で開催した。

ビサギナス計画で協力確認

日リトアニア会談

岸田文雄外務大臣は十三日、外務省賓客として訪日中のL・リンケビチュス・リトアニア外務大臣と外相会談を都内で行った。

岸田外相は、リトアニアのビサギナス原発建設

岸田文雄外務大臣は十三日、外務省賓客として訪日中のL・リンケビチュス・リトアニア外務大臣と外相会談を都内で行った。

岸田外相は、リトアニアのビサギナス原発建設

マグウッド氏が事務局長に

OECD/NEA

複数の情報メディアによると、米原子力規制委員会(NRC)のW・マグウッド委員(II写真)が九月から経済協力開発機構・原子力機関(OECD/NEA)の第七代事務局長に就任することになった。NRCのE・プレナー報道官が十九日付で述べたとしている。

二〇一〇年にB・オハマ大統領からNRC委員の一人に指名された同委員の任期は二〇一五年六月末まで残っており、この時点でNRCを辞すかについては今のところ未定。一方、一九九七年に

NEA事務局長に就任した現職のL・エチャバリ氏は今限りで退任が決まっている。

新会員

原産協会の会員として、十四日付で以下一人が入会した。

ABB(株)。

正しいこと知る努力を

櫻井よしこ氏 再稼働を訴える

ジャーナリストの櫻井よしこ氏(II写真)が十二日、都内で開かれた原子力と環境問題をテーマとしたドキュメンタリー映画「バンドラの約束」の上映会に先立ち講演を行い、福島復興の課題や世界のエネルギー情勢に関する自身の取材経験を語り、

櫻井氏は、福島被災地を視察した経験から、放射線影響に関し、政治家でも自身と異なる意見をまったく聞き入れない人たちがいることを懸念したほか、チェルノブイリ事故被災地のスラブチツ

さらに、エネルギー問題について、櫻井氏は、原子力発電の停止に伴う燃料費増に関し、「一日百億円の札束を燃やしている」として、経済維持のためにも「原子力発電は再稼働しなければならぬ」と訴えた。



櫻井よしこ氏(II写真)が十二日、都内で開かれた原子力と環境問題をテーマとしたドキュメンタリー映画「バンドラの約束」の上映会に先立ち講演を行い、福島復興の課題や世界のエネルギー情勢に関する自身の取材経験を語り、

櫻井氏は、福島被災地を視察した経験から、放射線影響に関し、政治家でも自身と異なる意見をまったく聞き入れない人たちがいることを懸念したほか、チェルノブイリ事故被災地のスラブチツ

さらに、エネルギー問題について、櫻井氏は、原子力発電の停止に伴う燃料費増に関し、「一日百億円の札束を燃やしている」として、経済維持のためにも「原子力発電は再稼働しなければならぬ」と訴えた。